

都市計画道路新吉田中川線 都市計画市素案について



平成27年 1 月15日

道路局 企画課 計画調整担当
建築局 都市計画課

■説明項目

- 1 都市計画道路網の見直しについて
- 2 これまでの経緯について
- 3 新吉田中川線の都市計画市素案について
- 4 都市計画法第53条の建築許可について
- 5 今後の都市計画手続について

1 都市計画道路網の見直しについて

■ 都市計画道路網の見直しの必要性について

現在の都市計画道路の多くが
昭和40年代までに都市計画決定



この間、都市構造や社会状況などの様々な面で変化

これらに適切に対応する必要がある

平成14年8月 社会資本整備審議会の中間答申

都市計画道路の追加、廃止、現状維持など
必要な見直しを早期に実施する必要がある

■都市計画道路網の見直しの必要性について



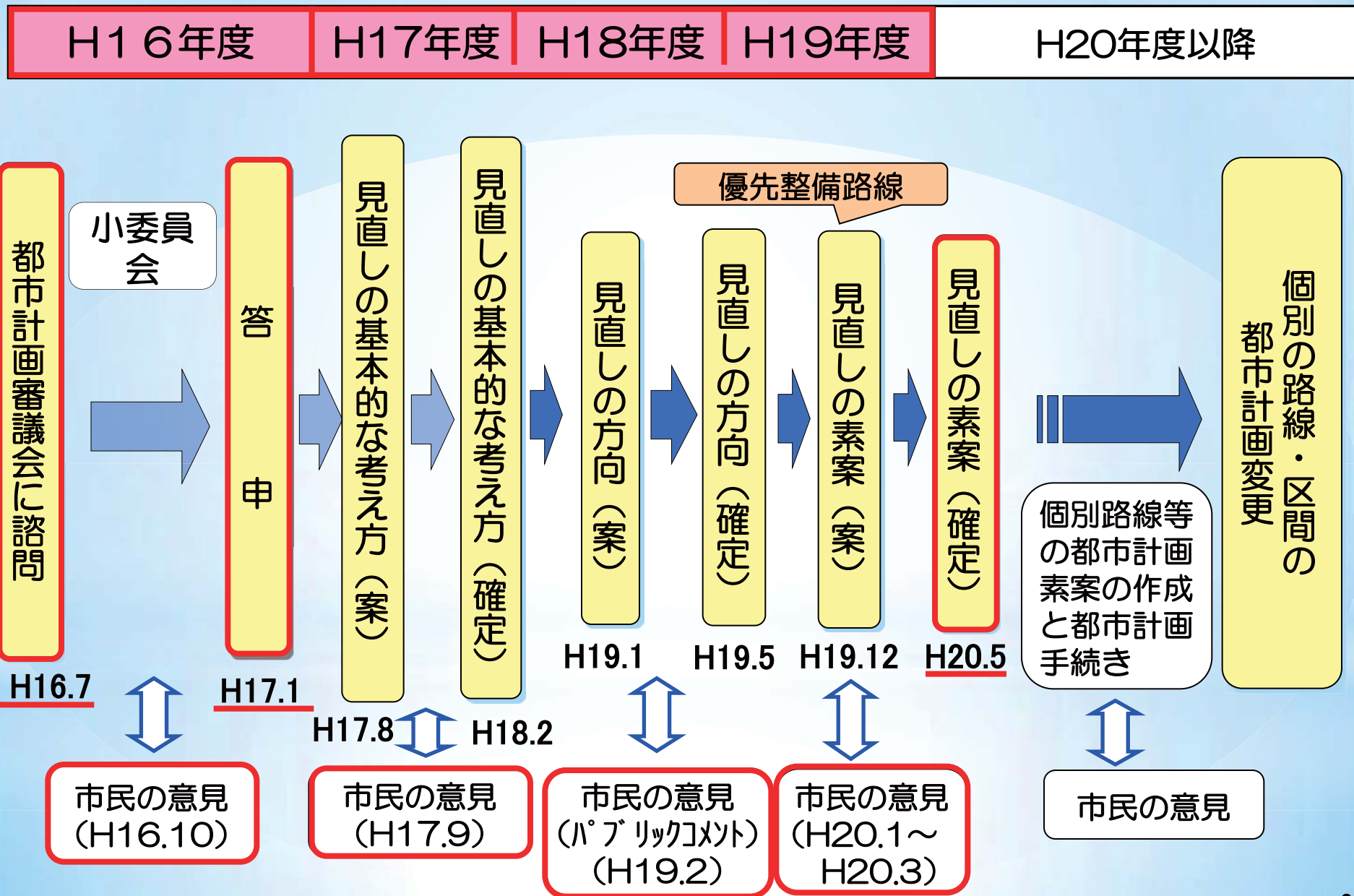
未着手の幹線街路を対象として、将来を見据えつつ、

- ・全市的な観点から骨格的な道路網の検証
- ・地域的な観点から個別路線・区間の必要性を検証



都市計画道路網の見直し

見直しの経緯



■見直しの素案(市内の都市計画道路の状況)

都市計画道路の計画延長: 約689km

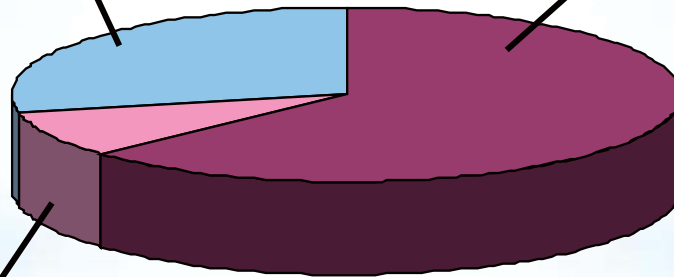
平成18年度末時点

(自動車専用道路等を除く)

未着手延長: 約196km(約3割)

整備済み延長: 約434km(約6割)

事業中等の延長: 約59km(約1割)

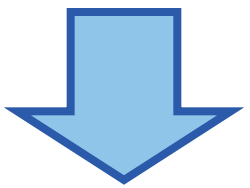


見直しの結果

都市計画道路延長: 約689km
(平成18年度末時点)

未着手の都市計画道路延長:
約196km

パターン	路線数	延長
<u>存続</u>	64路線	約173km
<u>変更候補</u>	14路線	約13km
<u>追加候補</u>	3路線	約6km
<u>廃止候補</u>	7路線	約10km



見直し後の延長
約191km

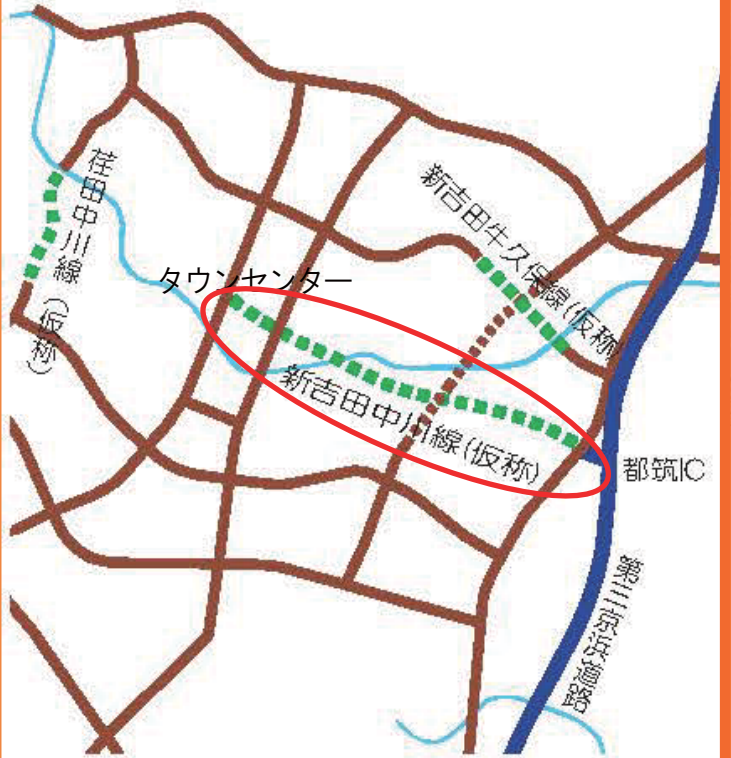


■ 今回の手続

今回の手続

追加候補 新吉田中川線

○都筑区まちづくりプランにおける
構想路線



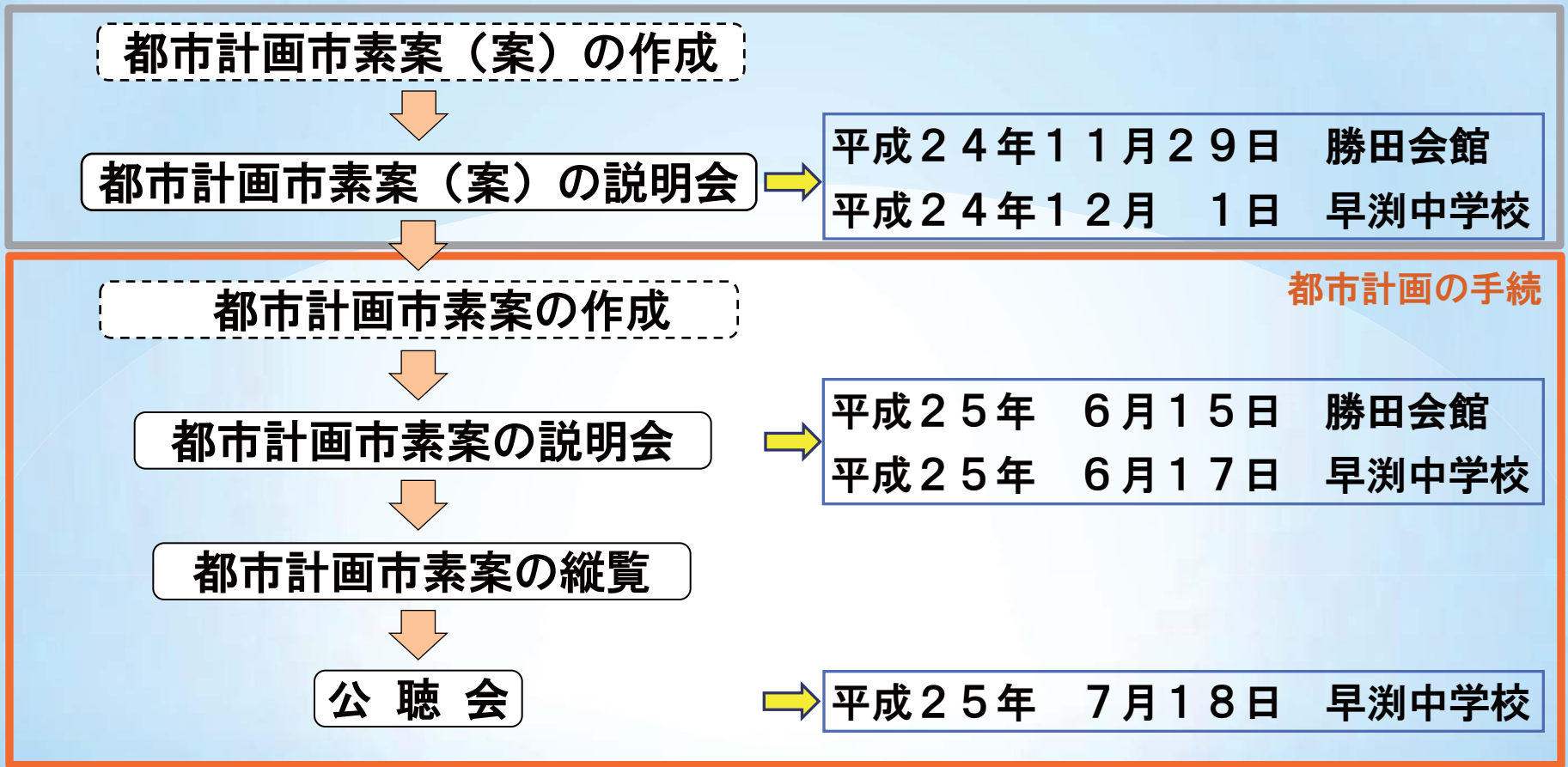
- 幹線道路 (整備済み)
- 幹線道路 (事業中)
- 第三京浜道路
- 幹線道路 (構想)

新吉田中川線



2 これまでの経緯について

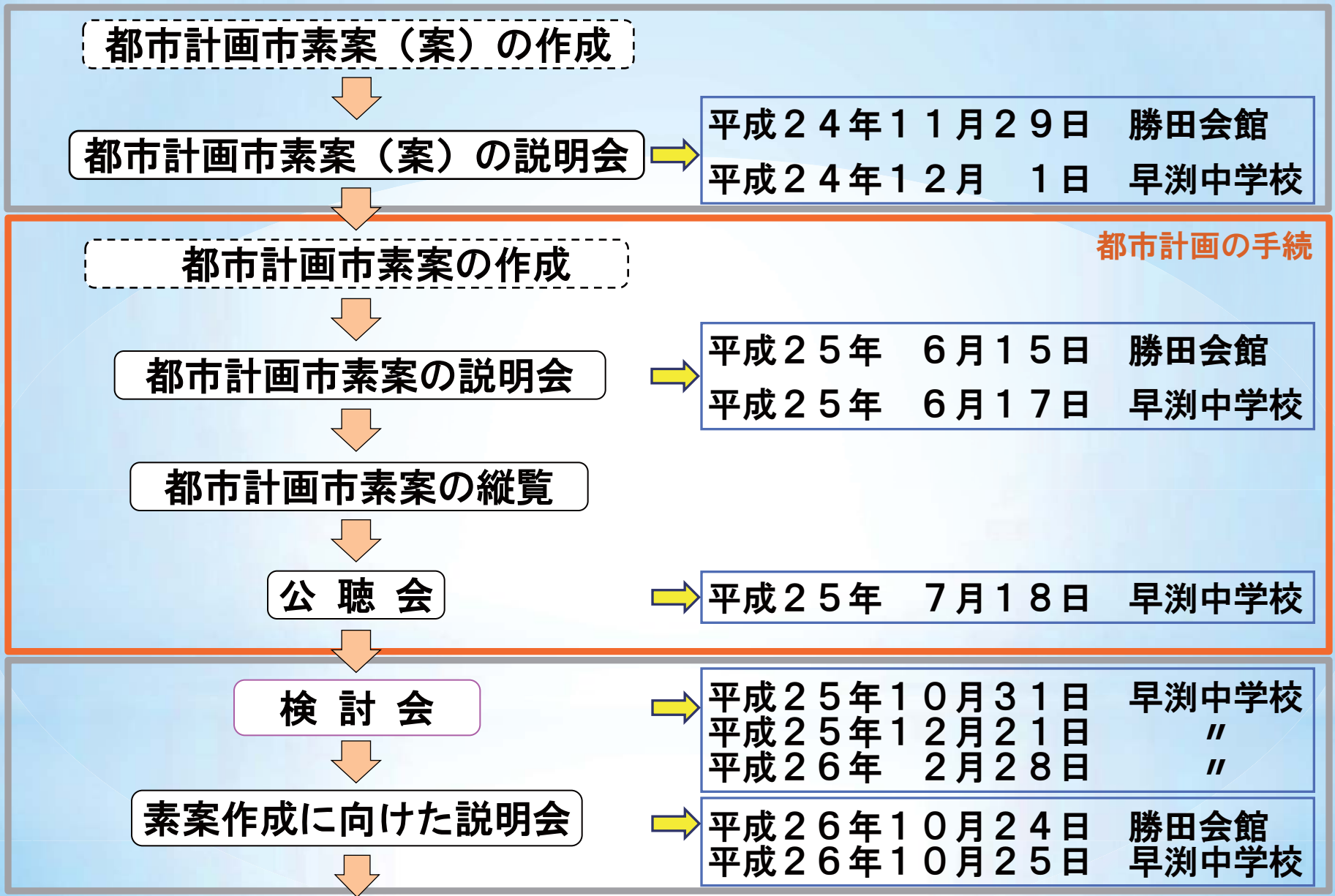
■これまでの都市計画手続などの流れ



■説明会や公聴会などでのご意見

- ・ 港北ニュータウンで整備された「せきれいのみち」の高架化や住宅地周辺の環境に対するご意見
- ・ 一部を掘割構造にすることにより多くの課題が解決するといったご提案 など

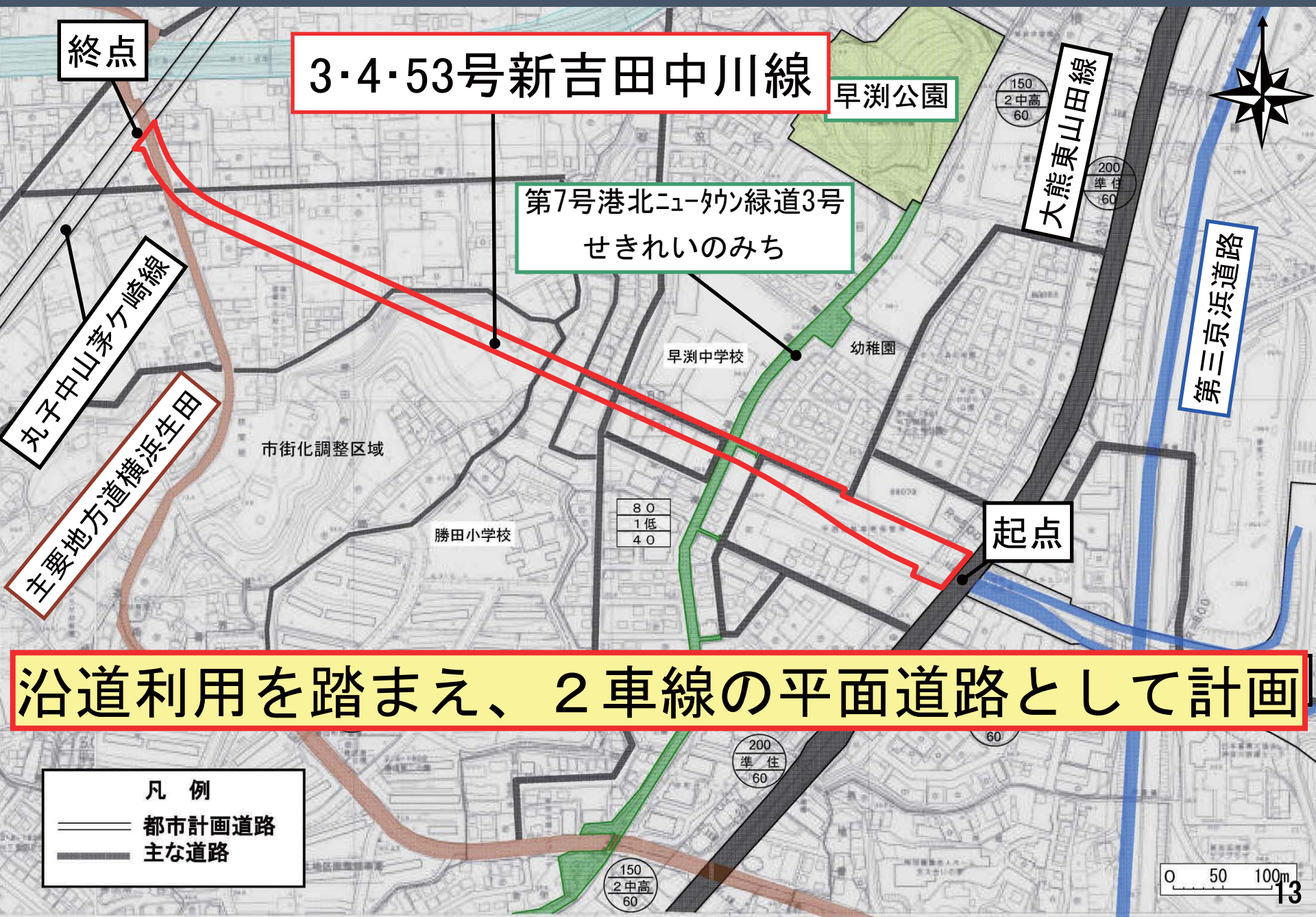
■これまでの都市計画手続などの流れ



都市計画の手続

今回の都市計画市素案の説明会

■前回の素案(平面案)



沿道利用を踏まえ、2車線の平面道路として計画

■前回の素案(せきれいのみち)



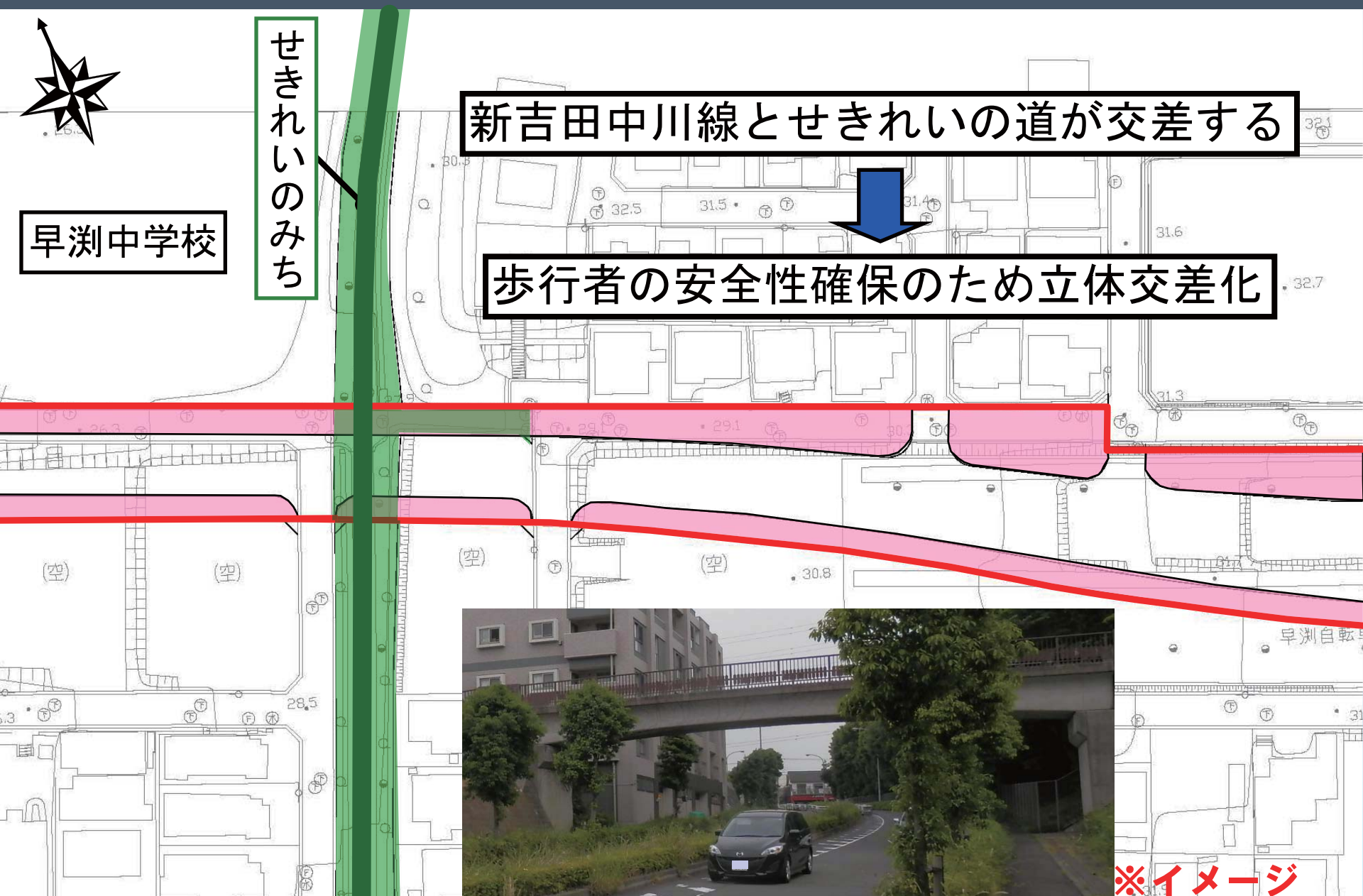
早渕中学校

せきれいのみち



新吉田中川線とせきれいの道が交差する



歩行者の安全性確保のため立体交差化



※イメージ

【凡例】  都市計画道路  歩道部

■ご意見等

「都市計画市素案（案）の説明会」、「都市計画市素案説明会」等で頂いたご意見、及び「公聴会での公述」の内容等

- ・ 港北ニュータウンの幹線道路は掘割形式と謳われているのに、平面道路とした計画は理念に合っていない。
- ・ 住宅内の道路に通過交通を呼び込み、通過車両が増えることが懸念される。
- ・ せきれいのみちが高架構造となると、起伏が急になり利用者、特に高齢者が不便をしいられる。
- ・ 新吉田中川線と勝田小学校、早渕中学校の通学児童・生徒の通学路が平面交差し、信号交差点を横断しなくてはならないため危険である。
- ・ 掘割形式を採用すれば、これらの課題を解決する。

■ 検討会について



これまでの地域の皆さまからの、ご意見やご提案を踏まえ



検討会を開催

■ 検討会での検証案は3案

- ・ 平面案 ⇒ 前回の素案
- ・ 掘割案①
⇒ 一部掘割、中学校西側で平面接続
- ・ 掘割案②
⇒ 市道大柵第183号線で平面接続

検討会の経緯

検討会 第1回

H25.10.31

- ・ 区域内道路網の現状認識
- ・ 比較検討案の提示 など

通信1号発行

検討会 第2回

H25.12.21

- ・ 交通量調査結果、各案の意見交換 など

通信2号発行

・ 意見募集

H26. 2.19締切

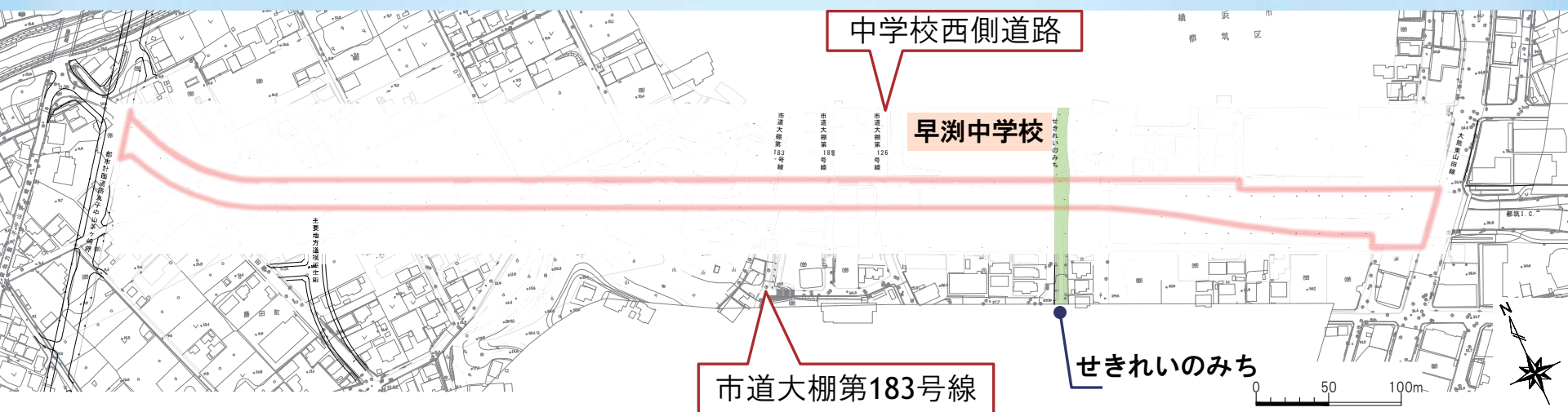
検討会 第3回

H26. 2.28

- ・ 各計画案の検証、課題の整理 など

通信3号発行

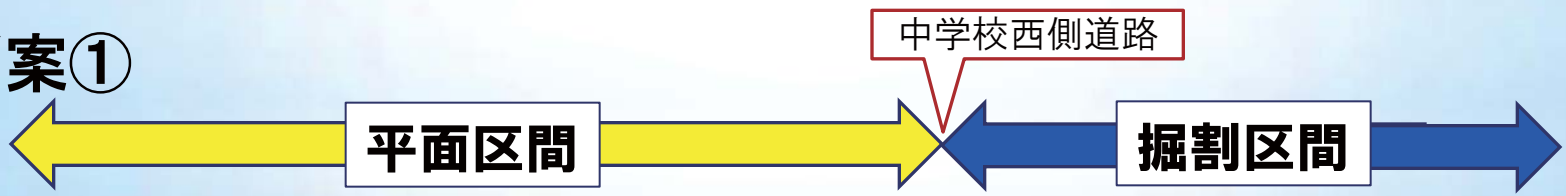
■ 検討会について



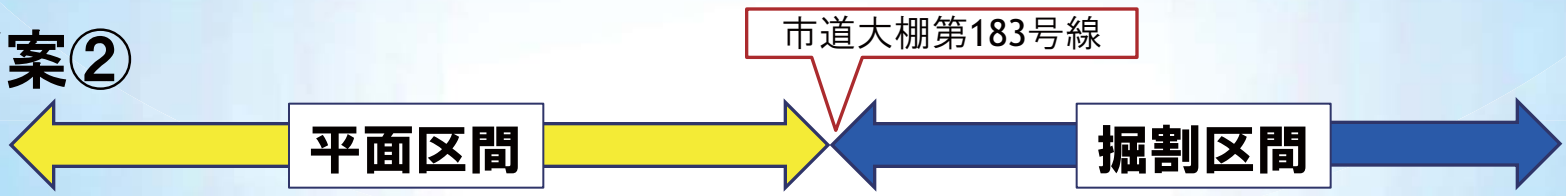
平面案



掘割案①



掘割案②



■ 検討会について



これまでの地域の皆さまからの、ご意見やご提案を踏まえ



検討会を開催

■ 検討会での検証案は3案

- ・ 平面案 ⇒ 前回の素案
- ・ 掘割案①
⇒ 一部掘割、中学校西側で平面接続
- ・ 掘割案②
⇒ 一部掘割、市道大柵第183号線で平面接続

検討会の経緯

検討会 第1回 H25.10.31

- ・ 区域内道路網の現状認識
- ・ 比較検討案の提示 など

通信1号発行

検討会 第2回 H25.12.21

- ・ 交通量調査結果、各案の意見交換 など

通信2号発行

・ 意見募集 H26. 2.19締切

検討会 第3回 H26. 2.28

- ・ 各計画案の検証、課題の整理 など

通信3号発行

■ 検証にあたって(意見募集)

意見募集のお知らせ

表面

平成26年1月

地域のみなきまへ

都市計画道路新吉田中川線
検討会事務局

都市計画道路新吉田中川線検討会
意見募集について

裏面

【意見応募様式】 ※締切 平成26年2月19日(水)午後5時15分 必着

新吉田中川線検討会検証案への意見等

■お住まいの地域に○を付けてください
勝田町、早淵一丁目、早淵二丁目、早淵三丁目、新栄町、その他

■各検証案について、ご意見を簡潔書きで記入して下さい。

平涌案	掘割案
どのようなところが 良いと思いますか？	どのようなところが 問題、課題と思いますか？
掘割案①	掘割案①
掘割案②	掘割案②

■その他、ご意見がございましたらご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

総数 284通

その他 42通 約15%

勝田地区 6通 約2%

早淵地区 236通 約83%

図 - 意見の提出者の居住地域

●いただいたご意見の中には、掘割②案を支持するご意見が多数あった

●いただいたご意見は内容ごとに整理し、「意見募集結果の整理表」として取りまとめた

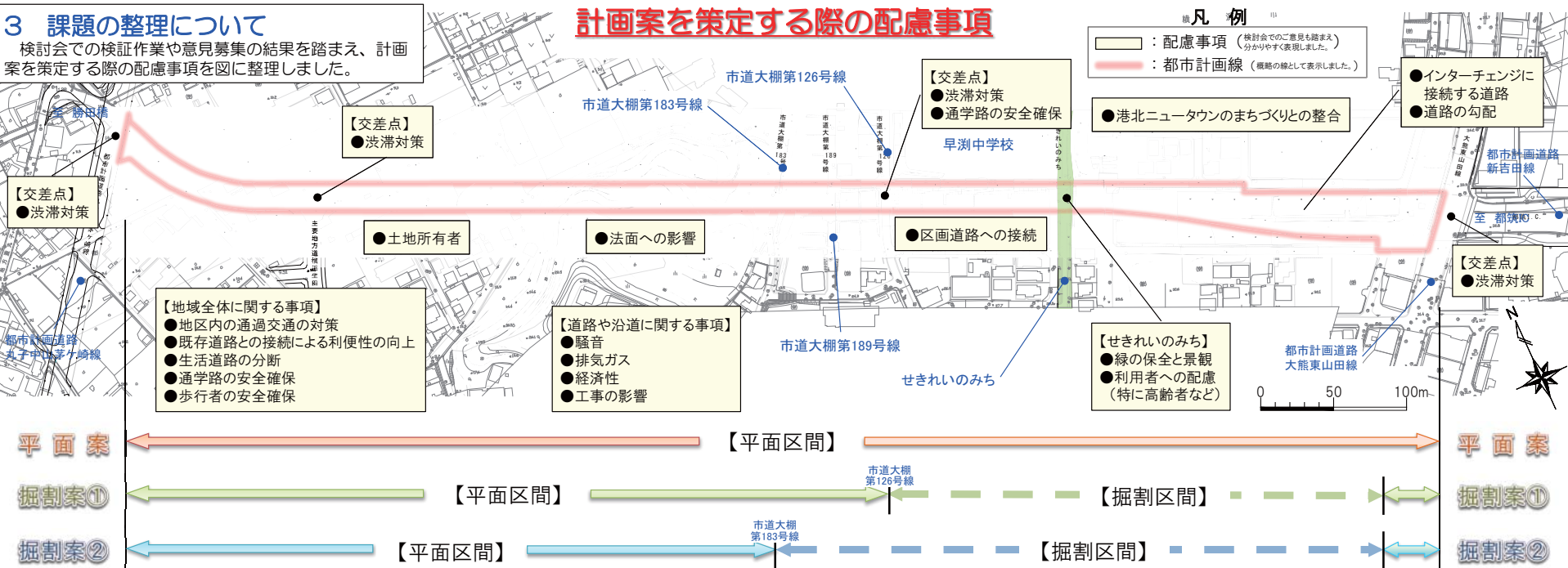
■ 計画案の検討に向け



計画案を策定する際の
配慮事項を整理

■ 計画案の検討に向け

検討会第3回で取りまとめられた計画案を策定する際の配慮事項



検討会通信3号に掲載

新吉田中川線 検討会

通信 2号

発行：都市計画道路新吉田中川線検討会事務局（平成26年1月）
お問合わせ：045-671-2773
横浜市道路局計画調整部企画課計画調整担当

規約 検討会第1回では、規約（案）をメンバーに審議して頂き、「規約」を決定しました。



第1条（目的）
検討会の目的は、計画案を検討することなのか？検証することなのか？

新吉田中川線 検討会

通信 1号

発行：都市計画道路新吉田中川線検討会事務局（平成25年11月）
お問合わせ：045-671-2773
横浜市道路局計画調整部企画課計画調整担当

計画道路新吉田中川線検討会が始まりました！

平成24年11月から、皆さまにご説明してきましたとおり、新たに都市計画決定する都市計画道路新吉田中川線については、周辺の方が車両動線としても歩行動線としても利用できる2車線の平面道路として計画しました。具体的には、既存の歩道と新吉田中川線の歩道を接続することで、連続歩空間を確保することや、既存の道路と接続させることでタウンセンターや都筑インターチェットとアクセス向上を図ることにより、周辺地域の利便性向上に資するものとするため、平

検証案を基に意見交換を行いました。

検討会第2回について
平成25年12月21日（土）から、早瀬中学校地域交流室において計画道路新吉田中川線検討会第2回を行いました。

当日は、検討会メンバー11名全員に参加いただき、検をめました。はじめに、検討会第1回での内容を振り返り、ポイント認しました。その後、平成25年10月29日（火）に実施した交の結を説明すると共に、各検証案について、意見交換をました。なお、検討会第1回、第2回の配布資料や議事要旨、選いては、横浜市道路局ホームページにも掲載しておりますご覧下さい。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/minaoshi/kouhoro/3453shinyoshinaka/>

第2回 主な議題
検討会第2回の主な議題は、以下のとおりです。
「第1回の要点について」、「交通量調査の結果について」「検証案について」、「地域意見募集について」

第1回の 要点
検討会第1回の主なポイントは以下のとおりです。
※横浜市道路局ホームページに掲載しております検討会第1回議も併せてご覧ください。



意見募集 について
検討会では、今後、地域の皆さまのご進めたいと考えております。つきましては、地域の皆さまへ新吉田すので、ご協力下さいませ。よろしくお願します。
※ 意見募集の締切日時は、平成26年2月19日（水）
※ 詳細については、別紙（A4版）「都市計画道路新吉田

新吉田中川線 検討会

通信 3号

発行：都市計画道路新吉田中川線検討会事務局（平成26年4月）
お問合わせ：045-671-2773
横浜市道路局計画調整部企画課計画調整担当

検討会第3回を開催しました！

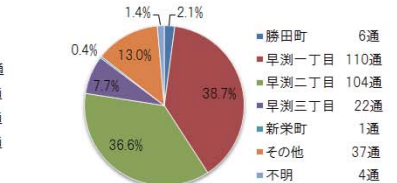
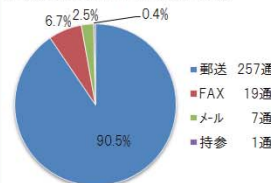
1 検討会第3回について

平成26年2月28日（金）19時から、早瀬中学校地域交流室で、都市計画道路新吉田中川線検討会第3回を開催しました。はじめに、平成25年12月21日（土）に開催した検討会第2回の要点を確認するとともに、地域意見募集の結果について事務局から説明しました。今回の検討会では、この意見募集の結果も参考にしながら、計画案を策定する際の配慮事項として取りまとめを整理しました。なお、これまでの検討会の配布資料や議事要旨、通信については、横浜市道路局ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

検討会の経緯	
検討会 第1回	H25.10.31 ・区域内外道路網の現状認識 ・比較検討案の提示 など
通信1号発行	H25.11
検討会 第2回	H25.12.21 ・交通量調査結果、各案の意見交換 など
通信2号発行	H26.1
意見募集	H26.2.19締切
検討会 第3回	H26.2.28 ・各計画案の検証、課題の整理 など
通信3号発行	H26.4

2 意見募集と結果

新吉田中川線検討会では、新吉田中川線の構造形式やせきれのみにちについて、検討会メンバーだけでなく地域の皆様からご意見をいただくために「意見募集」を行いました。この意見募集は、それぞれの構造形式に対し、どのような理由で賛成や反対のご意見をお持ちなのか伺いますと共に、3つの検証案に対する問題点などを確認するために行ったものです。意見総数は、284通で、郵送による応募が9割を占めました。また、早瀬一丁目及び早瀬二丁目からの応募が全体の8割を占めております。



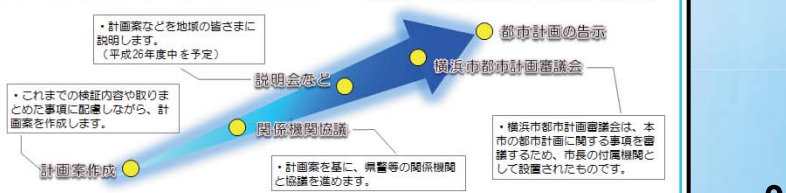
いただいたご意見の内容については、「意見募集結果の整理表」として取りまとめました。（横浜市道路局ホームページからご覧ください。）なお、いただいたご意見の中には、理由の記載はありませんでしたが、掘削案②を支持するご意見が多数ありました。

検討会の配布資料及び議事要旨については、横浜市道路局ホームページからご覧いただけます。なお、横浜市道路局ホームページのキーワード検索（新吉田中川線）でもご覧いただけます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/plan/minaoshi/kouhoro/3453shinyoshinaka/>

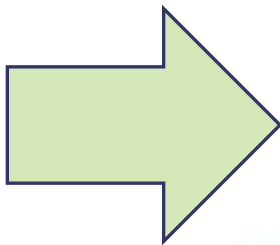
5 メンバーなどからの主なご意見

- 【平面案】
平面案では、早瀬中学校西側の市道大榎第126号線に接続してしまふ。市道大榎第126号線はとも交通量が多くスピードをかなり出してくるから、危険な道路だと警察も認めている。本当に危険である。ここで平面交差して車が流れてきたらどうということになるか、想像していただきたい。
今までのような過渡交通になってしまったら、危険は付いて回る。ボランティアだけではどうしようもなくなってしまふ。是非、この交差する平面案はやめていただきたい。
- 【掘削案①】
意見募集でいただいたご意見では、平面案にも掘削案①も問題点は多いですよという事を、みなさん多く言われている。「事業費が高い、税金の無駄遣い」という言葉があったが、税金が無駄なのかどうかを検討しているのではなく、税金が無駄だから問題や課題にしてしまうことは、やや気になる。
- 【掘削案②】
掘削は歩行者に対するストレスが少なく安全とする研究報告がある。平面案は傾斜の角度がほとんど変わっている。掘削案は真っ直ぐなのでより安全だと思う。
勾配の件についても色々な危険から改めて評価をしなければいけないと思う。そのようなものも、もう一回精査してそれが専門的にどういう評価が与えられるか、その上で、次の段階に進むと思う。
語弊があるかもしれないが、意見募集の結果にある意見が全て正しいというわけではないが、これだけご意見をお持ちの方がいらっしゃるということをきちんと捉えて、評価の配慮をさせていただかないといけない。
- 【掘削案③】
やはり安全のことをみなさん考えていて、それが道路を作る上で、住民が望んでいるということが一目瞭然。
- 【構造形式別の車の動線の比較】
車を使う人の利便と、生活する人の利便は別である。車を使う人で平面案が良いと言っている方、接続が良いという人は多くないかもしれない。それに対して、生活する人の意見が圧倒的に多い。
過渡交通が減ると言うが、勝田橋に道路がいついっしょ集まっている。それに対して勝田橋からタウンセンターへの道は一本で二車線である。きっと勝田橋で渋滞する。すると必ず抜け道を作るので、過渡交通は減る訳がない。
勝田橋から西側の区間も同時に事業を進めないと意味がない。
- 新しい道路を作る時には、まず安全性はもちろん第一に考えなくてはならないが、それに対して地域の方がそれを利用できないとなると、何も意味がないと思う。

6 新吉田中川線の今後の進め方



■ 計画案の検討に向け



横浜市

横浜市が
計画案を検討

計画案を策定する際の
配慮事項を整理